

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	鹿児島県いちき串木野市	イノシシ、サル	◎	○	○	—

現状・課題

本市は中山間地が多く、これまでも共同で罠による捕獲、侵入防止柵、追払いにより農作物を守ってきたが、高齢化に伴う耕作放棄地の増加により、鳥獣が人里に近づきやすくなり、生息域が拡大。このような中、鳥獣被害の低減と耕作意欲の回復を図るためには、ICTを活用し、高齢化が進む中山間集落においても、住民と協力して対策に取り組める仕組みを構築する必要がある。

事業概要

- ・サルのリアルタイムのGPSデータを各集落と共有し、追払い、捕獲に活用。また、GPSデータを精査し、餌場となる放任果樹等の撤去に繋げる
- ・トレイルカメラで撮影したサルの動画を基にディープラーニングを行い、画像認識させることで、ドローンでの自動追尾による追払いを実証
- ・イノシシについては、自動給餌式大型檻わな、センサー式囲い罠による効率的な捕獲を実施

活用機器※交付金活用外の機器を含む

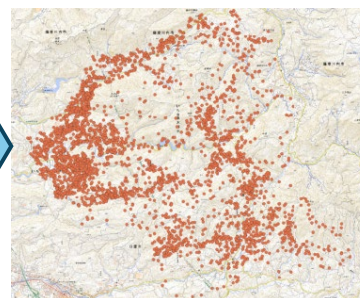
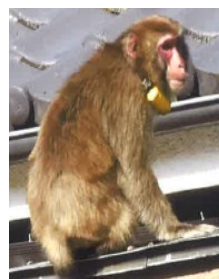
- ・GPS機器
- ・GPS基地局
- ・トレイルカメラ
- ・遠隔監視型捕獲システム
- ・移動式大型檻わな
- ・センサー式囲いわな
- ・ドローン

モデル地区の普及範囲

- ・県内

【イメージ】

・GPSデータを活用した追払い



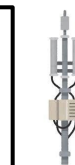
GPS機器設置

GIS活用(行動把握)

- ・自動給餌式大型檻わな（イノシシ）



基地局を設置し、
地域住民とリアルタイムの位置
情報共有



基地局イメージ



【効率的な追払い】



- ・トレイルカメラでサルの動画撮影・解析

